

製品名: Kir2.1 (17H9) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe13025**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%新型保存料 N、50%グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:200-1:500,ICC/IF 1:100-1:200
分子量	48kDa

抗原情報

遺伝子名	KCNJ2
別名	KCNJ2; ATFB9; HHBIRK1; IRK1; KIR2.1; LQT7; HIRK1; IRK-1; HHIRK1; SQT3;
遺伝子 ID	3759.0
SwissProt ID	P63252
免疫原	ヒト Kir2.1 の合成ペプチド

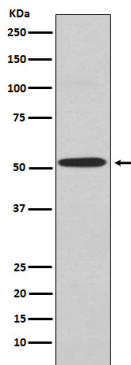
背景

おそらく、活動電位波形の確立と神経組織および筋肉組織の興奮性に関与しています。内向き整流性カリウムチャンネルは、カリウムが細胞外に流れ込むよりも細胞内に流れ込む傾向が強いという特徴があります。おそらく、活動電位波形の確立と神経組織および筋肉組織の興奮性に関与しています。内向き整流性カリウムチャンネルは、カリウムが細胞外に流れ込むよりも細胞内に流れ込む傾向が強いという特徴があります。その電圧依存性は細胞外カリウム濃度によって制御され、細胞外カリウムが上昇すると、チャンネル開口部の電圧範囲はより正の電圧にシフトします。内向き整流は主に、内部のマグネシウムによる外向き電流の遮断によるものです。細胞外のバリウムまたはセシウムによって遮断される可能性があります。

研究分野

-

画像データ



A549 細胞溶解物中の Kir2.1 発現のウェスタン プロット分析。